

ひと あい え じ が わ

～人と地域をつなぐ～

これから
よろしくね♪これから
何する？

やっと卒業しました～!

大学祭



展示会場とオンラインでの大学祭ご覧いただけただいしょうか？
引き続き動画公開していますので人生大学チャンネルからご覧ください。



新型コロナウイルスの影響で、
15期生59名は3年かかって卒業しました。

写真は、9月10日にタワーホール船堀で行われた卒業式当日のものです。
※情報紙内の写真は、撮影時のみマスクを外しています。

CONTENTS

2・3面 15期生の学習成果

4面 学科長あいさつ・入学式・同窓会の窓

15期生の学習成果

江戸川まちづくり学科

4月～5月の計4回にわたって以下の卒業研究発表を行いました。

【個人発表4件】

- 自宅のできる学習支援：動画を使ったリモート学習支援
- 子供と老人のふれあい広場：少子高齢化に伴う課題とその解決策
- 江戸川区の富士塚を参拝・清掃・保存する：区内15箇所の富士塚の紹介
- Zoomで教える日本語：リモートで外国人に日本語を教える

【グループ発表4件】

- 自治会活動におけるITの活用：IT技術を使って若い人へ自治会活動をアピールする
- 地域の魅力を見て知って学ぼう：平井の魅力を旧中川沿いを中心に紹介
- 郷土江戸川区の魅力を伝える：江戸川ドレミカルチャー(奏でる・調べる・伝える)
- 新川千本桜をより楽しんでもらう：新川のソメイヨシノ以外の桜に木札を付ける



子育てささえあい学科

子育てささえあい学科では、それぞれの学生がこれまで学んだことについて「課題レポート集」として一冊の本にまとめます。今回はその中身を一部ご紹介します！

「2年間在学して学んだことや良かったこと」では、「子育ての状況は考えていた以上に変化し対応も変わっていた」「長い間住んでいた江戸川区の知らなかった事が分かるようになり、不安な気持ちが少しずつ消えていった」「私なりに助けてあげられる事を増やすためにもっと知りたいと思い、今まで目に止めなかった教育や子育ての番組、チラシ等に目が止まるようになってきた」などと、皆さん価値観の変化や日頃の行動に大きな影響がありました。

その他、入学した理由や経緯、子育て中の親子や区民の皆さんへのメッセージもまとめています。

課題レポート集は、江戸川区内の図書館にてどなたでもご覧いただけます。ぜひご覧いただき、江戸川区の子育てを一緒にささえあいましょう！



国際コミュニティ学科

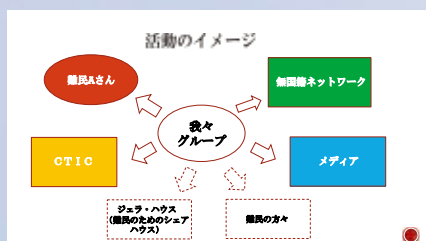
卒業を前にして、個人発表とグループ発表を行いました。

個人発表は、卒業後の実践活動を視野に入れ、2年間取り組んできたフィールド・ワーク等について個別に発表するものでした。それぞれ問題意識や取組み、視点の違いなど、クラスメートの発表にお互いが新鮮な刺激となりました。

グループ発表は、4つのグループで、卒業後のプロジェクト企画・実践について討議を行い、その成果を1年次の16期生も招いて発表するものでした。4グループが行ったプロジェクト及び発表のテーマは、次のとおりです。

- 留学生コミュニケーションサポート：留学生と相互の文化・言語を学ぶ「エデュケーション・パーティ」
- 難民問題に取り組む：母国の分裂で、帰る国を失った旧ユーゴスラビア人を支援する
- ママと赤ちゃんの居場所づくり：子育てに悩む若いママさんの息抜き場「楽、らく、ラックの会」
- 外国人の日本語学習支援：試行錯誤しながらの日本語学習支援の短い経験から、今後を模索する

コロナ禍の中で、グループ討議の途中で休講となり、ややモチベーションも下がる状況でした。また、卒業しても未だプロジェクトの実践とはいかない状況ですが、クラス仲間との出会いを大切にしながら、(実質的に)2年間の学びを忘れることなく、今後活かしていきたいと思っています。新型コロナ禍の収束を願いつつ。



ママと赤ちゃんの居場所作り

・はじめに

1. 会の意味
2. 動機 (会立ち上げ)
3. 会のメンバー
4. チラシ (広報活動)
5. プチグレンとの交渉
6. ボランティアセンターに登録
7. その他



介護・健康学科

～学びを今こそ前へ進む糧に～

2年間の学びの集大成として、個人13人、グループ2組が研究を発表しました。



- ①介護予防と老いへの思い ②私の防災
- ③認知症～基本姿勢とユマニチュードの観点から～ 認知症の方が穏やかな態度に変わる介護方法
- ④百歳まで社会とかかわりを持ち、元気で生きていく ⑤認知症予防・知識をしっかりと身につける
- ⑥私のささやかな挑戦～目からうろこ～ ディサービスを活用して健康寿命を延ばす
- ⑦私たちはいずれ誰もが「おひとりさま」になります ⑧介護とボランティアと戦争体験
- ⑨私の道しるべ 地域貢献活動を通してなごやかな暮らしをする ⑩介護予防とフレイル予防
- ⑪健常者と障がい者 私の経験、そして社会福祉 ⑫終活の一考察「老人ホームの選び方」
- ⑬特別養護老人ホームに早く入居する裏技～その時、慌てない為に～
- ⑭脳について学ぶ～加齢の変化に適応し自分らしくあるために～
- ⑮8050問題～生きているだけでいいんだよ～「私たちにできること」

開学当時から介護・健康学科長として「尽力いただいた村田学科長が退任され、今学期から柏女学科長が就任されました。お二人からメッセージをいただきました。」

「ああ、楽しかった！」

大学を去るに当たって、17年間の関わりを思い起こしてみますと「ああ、楽しかった！」という気持ちしか思いつきません。江戸川区内のさまざまな地域から年齢も価値観も、また経歴も違う方々が集い、同じ目的に向けて学ぶ。入学当初は、どこかこわごわ教室に通ってくる様子だった人たちが、日を重ねる事に表情は和らぎ、話し声も大きくなり、二年後には次なる目的をもって卒業していくさまは、私にとっても実に刺激的でした。

村田幸子



10月から村田幸子学科長を引き継ぎ、介護・健康学科長を務める柏女霊峰（かしわめ・れいほう）と申します。以前、北野学長が勤めていた淑徳大学に勤務しているご縁で、務めさせていただくこととなりました。

介護・健康学科では、人生の四苦「生老病死」のうち主として「病」の予防・健康並びに「老」の生き方について、仲間とともに学びます。ポイントとは、「超高齢社会と介護保険制度」「介護予防の重要性」「地域の課題と解決のヒントを探る」の3つです。

私は福祉を専門にしていますが、介護・健康分野の学びについては皆さん方と同様、初学者です。妻の介護を通じて感じてきたことをもとに、皆様とともに学びを深めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

柏女霊峰

17期生の皆さま、 ご入学おめでとうございます！

10月6日（水）東部フレンドホールにおいて17期生の入学式が行われ、100名の方が入学されました。北野学長、各学科長より歓迎の挨拶があり、斉藤区長から励ましの言葉をいただきました。



同窓会の窓

江戸川総合人生大学は17期生が入学され、新年度を迎えました。江戸川総合人生大学同窓会も第15期がスタートしました。

私は、第15期同窓会会長に就任いたしました松浦松子と申します。国際10期と介護12期を卒業しており、入学当時のことが印象に残っております。学長の「学生と同窓生は車の両輪である」との言葉には、生き活きと学生生活を送ってこそ、同窓生となって地域の方と共に輝いていくことができる。このような姿を車の両輪と例えられたと認識しています。

同窓会では地域の方々にもっと人生大学や同窓会を知って頂きたいと考えております。イラストは4学科のイメージカラーで構成する同窓会のシンボルマークです。

現在、人とのつながりが疎になりがちで厳しい環境が続いておりますが、こんな時こそ仲間との繋がり・絆が大切であり役立つものと思っています。

同窓会会長 松浦 松子



編集後記

先日、人生大学15期生として無事に卒業を迎えることができました。

実質3年間となった学生生活で編集委員にも同じ期間関わり、多くの経験をさせていただきました。編集委員のメンバーは人生大学の良さを区民へ伝えたい！という想いを強く持ち続けております。自分が良いと思ったものを熱を持って発信する大切さを改めて学ばせていただきました。ここでしか見られない学生生活の様子が一人でも多くの方に届き、主体性ある区民が増えることを願っております。

副委員長 赤松 卓人

編集委員

谷村健次郎、磐前知雄（まち15）、小越美子、松村知勝（国15）
赤松卓人、涌井美知代（子15）、佐々木政幸、菅原加津子（介15）
江嶋裕二、坂入久美子（まち16）、新田隆、宮崎真理子（国16）
大島瑠可、若松信行（子16）、伊香三省、米村康子（介16）

